

果樹病虫害発生予察調査結果（7／25調査分）
（三条、加茂、田上地域）

7月25日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- ナシヒメシンクイの誘殺数が前年同時期よりも多くなっており、モモでは果実被害や新梢の芯折れも確認されています。第3世代幼虫の防除時期は7月下旬から8月上旬ですので、JAの防除暦や情報を参考に防除を実施し、被害部位は除去しましょう。
- 一部で、ハダニ類の発生が確認されています。梅雨明け後は多発生が懸念されますので、寄生状況を観察した上で発生初期に防除を実施しましょう。
- モモを中心に、収穫期を迎えている品種もあります。隣接園地の防除時はドリフトに十分注意しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は発生が増加しています。り病部位は摘み取って園外で処分し、感染拡大を防止しましょう。徒長枝を適宜せん除することも、対策として重要です。
- 一部で、黒星病の発生が確認されています。発生量は少ないものの雨天が多いことから、防除間隔が空かないよう注意するとともに、り病部位の除去で感染拡大を防ぎましょう。

（モモ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- せん孔細菌病は全調査園地において、新梢葉への発病が確認され、発病果も一部で確認されています。引き続き、り病部位の除去や防風網の点検を実施しましょう。
- 一部で、灰星病り病果が確認されています。JAの「令和6年度桃収穫・管理日程表」を参考に収穫前防除を実施し、収穫間際の被害を防ぎましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 一部で、ブドウサビダニやマメコガネによる被害葉が確認されています。病害は確認されなかったものの、今後の発生に注意し、適期防除や被害部位の除去で被害拡大を防止しましょう。

※今後も暑い日が続くので作業中の熱中症にも注意し、十分な水分補給等を行ってください。

次回調査は8月9日(金)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020